



Notícias telegráficas pela Agência nipônica 'Domel' da guerra russo-japonesa

全歐遂に乱る

獨軍の對露開戦理由聲明

【獨育二十二ニヨリ「獨軍」の蘇きや】と。予は此對「獨乙は取り結んだ、モスクワはセル

聯侵入を理由とするヒットラーフィンランに政治的利害を

一總統の宣告文左の如し

予には子の大臣の一人を莫斯科に派遣し、何故ならソ聯は國境に對す可き位置を執る事は因

利に派遣し、英國封紳妨害工作事は因

難であつたが子は終には其張を脅して居るとは信じないか

狀態が輕減乃至解消可き可らである」と回答した

能性を期待してゐた獨逸は未だかつてリソアニアを占領

乙はソ聯がブルガリアに對し乙にせんとして居ると言ふ意たる事で、モロトフは松

有せぬ、だがフィンランに頭更に一步をすすめて對獨乙は幾度かが國境を越え幾度び

斯對する新しい攻撃は之が許すに利用さる可き武器を提供しきは制空者の事を現示した

科に派遣し、英國封紳妨害工作事は因

難であつたが子は終には其張を脅して居るとは信じないか

狀態が輕減乃至解消可き可らである」と回答した

モロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

だかにモロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

だかにモロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

だかにモロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

だかにモロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

だかにモロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

だかにモロトフの第三の質問は「獨乙は之を裏切つてセルビアを獨乙よりカバストにい

アキン街九十三番地
郵便局二七五六
發行人 香山露子
講讀料 一年四十銭
廣告料 一段七二五銭

NOTÍCIAS DE SÃO PAULO
Caixa 2165 - Fone 7-0447
R. Conde de S. Joaquim, 3
São Paulo - Brasil

ルーマニア軍も

獨軍と共同參戰

【アガレスト二十二日同盟】そぞい布告を發し、自ら軍司

アンド・ネスコ、ルーマニア軍に對し、二十日早朝ベラビア、ブコ

首相は全ルーマニア軍に對し、二日早朝ベラビア、ブコ

失地回復の爲め獨軍と共に戰、ビナに侵入した

【ロンドン二十二日同盟】チヂル首相は二十日午牛

後ラヂオを通じ、米國政府は猛攻中である、未

だ確報ではないが、ソ連は未

エストニアに波瀾勃發し、二十二日夜半に波瀾勃發し、蘇聯船艦を占領此處でも兩

されず赤軍は自下此等反蘇

軍の間に戰火が交へられて

アルガリアが獨立國であり

ソ連は他の保障を必要として居るとは當初獨乙が長期戦に惹き入は相結合して居るわれ等はナ

地を要求して居るにいたつて、今日到度その全歐の命運に關するにいたつて、今や到底その全歐の命運

はアルガリアが獨立國であり

ソ連は他の保障を必要とするにいたつて、今や到底その全歐の命運

